**日本地下生菌研究会会報『Trufflelogy』 原著論文フォーマット
［以下の黒字を書き換え、赤字を削除して原稿を作成してください。］**

**［1頁目］［原著論文］**

**神奈川県において採集された◯◯タケ（*Abcd efgh*）の胞子形態について**

**Spore morphology of *Abcd efgh* collected in Kanagawa, Japan**［英文タイトルを併記する。］

ショートタイトル：○○タケの胞子形態［各ページのヘッダに掲載するサブタイトル。
全角20字以内。英語論文の場合は英語表記で半角45字以内（スペース含む）。］

折原 貴道1\*, 木下 晃彦2, 山本 航平3

Takamichi Orihara1\*, Kinoshita Akihiko2, Kohei Yamamoto3

1  XXX博物館　〒123-4567 XXX…

2 YY大学　〒234-5678 YYY…

3 〒345-6789 ZZZ…

\*主著者（corresponding author）

E-mail: aaaa@bbbb.cc.jp
電話番号: XXX-XXXX-XXXX
FAX番号: XXX-XXXX-XXXX

［各著者の所属先の名称・住所を記入。主著者は連絡先も記入する。］

［原稿の各ページにはページ番号を振る。］

**［2頁目］**

**要旨（Abstract）**

◯◯タケ（*Abcd efgh*）は…。

［全角800字以内で記述する。段落分けはしない。要旨中では文献の引用をしない。また、学名は命名者名を省略して記述する。専門用語の略記は避ける。英文要旨を併記する場合は300語以内で記述する。］

**キーワードは不要**

**［3頁目以降］**

**序論（Introduction）**

◯◯タケ（*Abcd efgh* Authors）は…。本種は国内では本州および九州から報告されており、・・・・。しかし、・・・・・・・・・・・。

本研究では…を明らかにすることを目的とした。・・・・・・・・・・・。

［・種名や属名などの和名は日本産菌類集覧（勝本、2010）に準拠する。本文中では初出の種名に学名を併記する。学名表記はMycoBank（http://www.mycobank.org）に登録されているものに準拠する。

・1段落目はインデント無しで始める。2段落目以降はインデントを入れる。

・本文中での文献引用の例：

「…、それに対して折原・山本（2016）は、南西諸島における地下生菌の分布が…」

「…。しかし、大前ほか（2017）は、北海道産地下生菌の多様性は…」

「…、降水量と子実体発生量が必ずしも一致しないことを示した（木下、2010；Kinoshita et al., 2009, 2015；Orihara & Yamamoto, 2013）」（アルファベット順、ただし同一著者の場合は出版年順）］

**材料および手法（Materials and methods）**

子実体のサンプリングおよび観察法

神奈川県内において採集された、◯◯タケの10標本（表1）を供試した。顕微鏡観察には光学顕微鏡（XYZ-1、△△社）を用いた。…を3% KOHで処理し、…。標本は全て□□博物館に保存した（表1）。

［・上記例のように副見出しを入れる場合は、本文はインデントを入れて開始する。結果、考察についても同様。

・材料の由来、保存場所、標本名を明記する。

・顕微鏡などの使用機器については、必要に応じて機種名と社名を示す。

・数値と単位の間は半角分のスペースを挿入する（例：1.5 cm, 12.5 μm, 54 mg）。ただしパーセンテージ表示については、数値と”%”の間は空けずに表記する。］

**結果（Results）**

◯◯タケの子実体は球形で、直径10–15 mmであった（図1）。顕微鏡観察の結果、◯◯タケの胞子は…という特徴をもつことが明らかになった（図2A、B、D–F）。胞子は楕円形で、大きさは10–15 × 5–10 μmであった。

**分類（Taxonomy）**

本研究における分子系統解析および胞子の形態的特徴から、・・・・。

*Tuber abcde* Orihara & Koh. Yamam., sp. nov.

MycoBank ID: MBXXXXXX

図2.

Diagnosis: 〔類似する他種との識別点を簡潔に既述する。〕

Etymology: 〔新分類群の学名の語源（名の由来）〕

Holotype: JAPAN, Kanagawa Prefecture, Odawara-shi, Iryuda, under *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatus., T. Orihara, *Orihara 12345*, KPM-NC XYZXYZ.

記載：子実体は直径10–25 mm、地下生、亜球形～塊形、表面は平滑、白色、…。グレバは黒色、粘性があり、白色の基層盤によって微細な腔室により仕切られる。……。

その他の観察標本：神奈川県小田原市入生田、スダジイ樹下、2016年7月13日、折原貴道採集・同定、*Orihara XYZ*、KPM-NC XXYZZ；……．

［必要に応じて挿入する。新分類群の記載には、MycoBankのIDをあらかじめ取得し、記載中にIDを明記することが必要。新分類群の記載を行う場合は、英語記載が望ましい（最低でも、”Diagnosis”, “Etymology”, “Holotype (またはType)” は英文で記載する）。］

**考察（Discussion）**

本研究において、…。［1段落目はインデント無しで始める。2段落目以降はインデントを入れる。副見出しを入れる場合は、改行後にインデントを入れて本文を開始する。］

**謝辞（Acknowledgement）**

本研究を行うにあたり、…。〔助成金による研究の場合、助成の課題番号等も標記する。〕

**引用文献（References）**

地下誠治・菌野花子・大茸慧（1995）地下生菌の胞子の風散布について．地下生菌学会会報 5 (1): 8–16.

茸田菌太郎（2015）菌根性地下生菌の多様性．日本地下生菌研究会 編．地下生菌研究の手引き，pp. 165–187，JATS出版，神奈川．

Hypogeus D.G., Chika S., Kinno H. (2001) Seasonal fruitbody occurrence of sequestrate fungi in Japan. Journal of trufflelogy 3: 25–41.

Otake S. (2006) Sequestrate fungi in Boletales. In: Hypogeus D.G. & Bark R. (eds.) Sequestrate fungi—systematics, ecology and evolution. JATS Publishing, Kanagawa, pp. 130–156.

Porcini B. (2017) Dictionary of sequestrate fungi, 1st edition. Truffle Press, Rome.

Sequestre H.-C. (2008) HYPO, Multiple sequence alignment software for sequestrate fungi. Available from http://www.hypo.com/software….. (downloaded on 25 Oct. 2015).

**図表の説明文（Legends to Tables and Figures）**

表1．観察に供試した◯◯タケの標本．

Table 1. Specimens of *Abcd efgh* examined for the study. ［図表の説明文は同内容の英文併記をすることが望ましいが、どちらか一方でも可。］

図1 ．◯◯タケの子実体（標本Orihara-###）．A：外観．矢印は…を示す．B：断面．表皮（P）と柱軸（C）を示す．Bars：2 cm．

図2．◯◯タケの胞子（標本Yamamoto-###）．A：…．Bars：A = 20 μm；B, C = 10 μm；D–F = 5 μm．

［・表は原則としてMS Excelファイルで作成し、提出する（拡張子: xls, xlsx）。他の形式で作成した場合は、必ず提出前にMS WordまたはExcelでファイルを開けるかどうか確認しておく。表中には縦線を入れないこと。

・図はJPEG, PDF, TIFFおよびPNGのいずれかの形式で提出する。図の解像度は300 dpi以上とするが、線画は600 dpi以上で保存・提出する。図のサイズは横幅最大182 mm、縦幅最大230 mmとする。図のデータサイズが12MBを超える場合は、所定のファイル転送サービスを利用し提出する。詳しくは編集・出版統括担当幹事にメールで確認のこと。］